

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

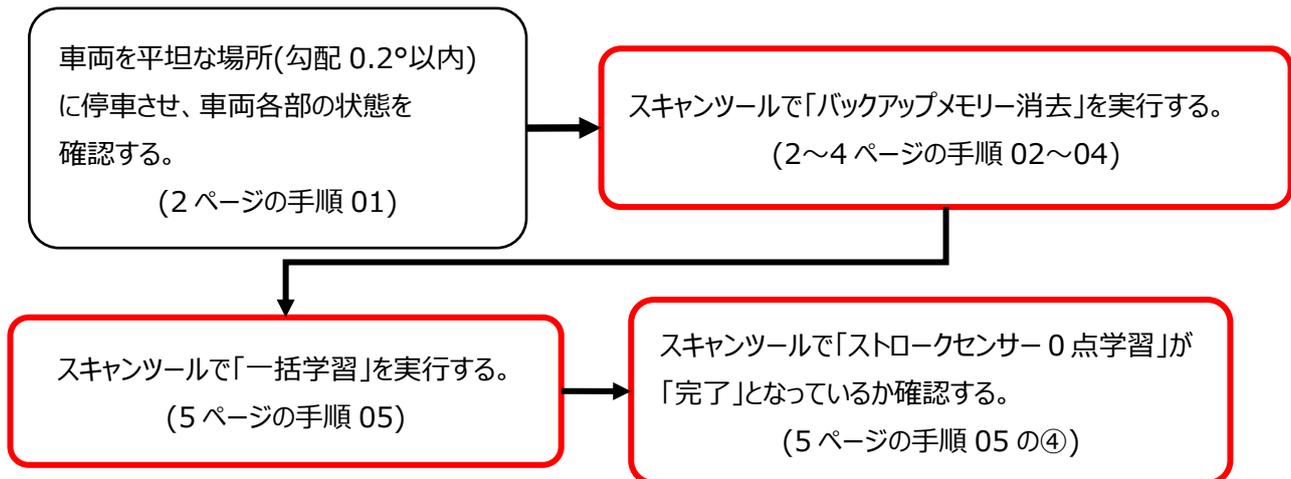
トヨタ車(60系プリウスなど)のヨーレートセンサー & G センサー 0点学習/再学習

注意事項/必ずお読みください

- 本書は日立ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1.トヨタ車(60系プリウスなど)のヨーレートセンサー & G センサー 0点学習手順概略

- トヨタ車(60系プリウスなど)ではヨーレートセンサーおよび G センサー(エアバッグセンサーASSY)の取り付け直しをした場合、スキャンツールの作業サポート「バックアップメモリー消去」「一括学習」を使用してヨーレートセンサー & G センサー 0点学習を行います。
- 作業サポート「バックアップメモリー消去」「一括学習」を使用したヨーレートセンサー & G センサー 0点学習の手順は以下となります。



- 作業サポート「バックアップメモリー消去」「一括学習」はブレーキペダルストロークセンサーの交換や調整、ブレーキペダルの交換などを行ったあとにも使用します。
- 作業サポート「一括学習」は HDM-10000 用トヨタ診断ソフト Ver.8.52 以降で使用可能です。

(次ページに続きます)

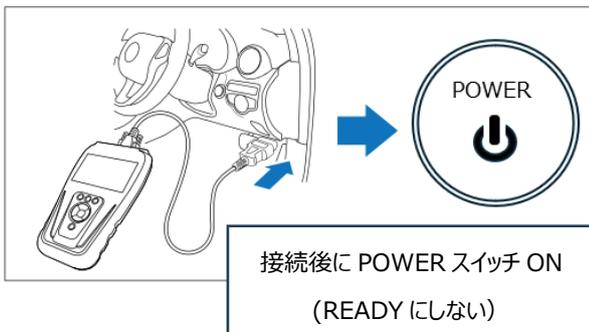
2.HDM-10000 用トヨタ診断ソフトによるヨーレートセンサー & G センサー 0 点学習手順

【手順 01:車両側の準備と状態確認】

- ① 車両を平坦な場所(勾配 0.2°以内)に停車させてください。
- ② 以下を確認してください。
 - ・READY ON 時の補機バッテリー電圧が正常である。
 - ・ブレーキブースターASSY(マスタシリンダー付)およびブレーキアクチュエーターASSY が高温になっていない。
 - ・ステアリングホイールが直進状態である。
 - ・シフト位置が P ポジションである。
- ③ 車両側 POWER スイッチを OFF にしてください。

【手順 02:HDM-10000 の車両への接続】

- ① HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ② 車両側 POWER スイッチを ON にしてください。
- ③ HDM-10000 メニュー内の診断を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 03:トヨタ診断ソフトの起動からブレーキ/電動 PKB の機能選択画面まで】

- ① メーカー選択が表示されます。画面の左側で「国産乗用車」を選択し、画面の右側の一覧で「トヨタ」を選択して ENTER キーを押してください。トヨタ診断ソフトが起動します。



- ② 地域設定が表示されたら「日本」を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

③車両選択の画面が表示されたら「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。そのあとに表示される「ブランド」「車名」「車型」「エンジン型式」「オプション」の各画面で該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。



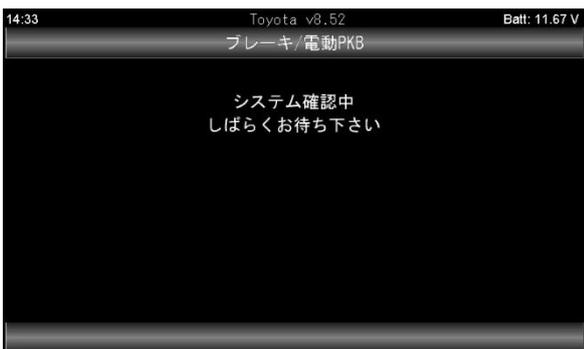
④トヨタメインメニューが表示されたら「作業サポート」を選択して ENTER キーを押してください。そのあとに表示される作業サポートで「作業サポート[New]」を選択して ENTER キーを押してください。



⑤「車両搭載システム確認中…しばらくお待ちください」が表示されたあとシステム選択の画面が表示されますので「ブレーキ/電動 PKB」を選択して ENTER キーを押してください。



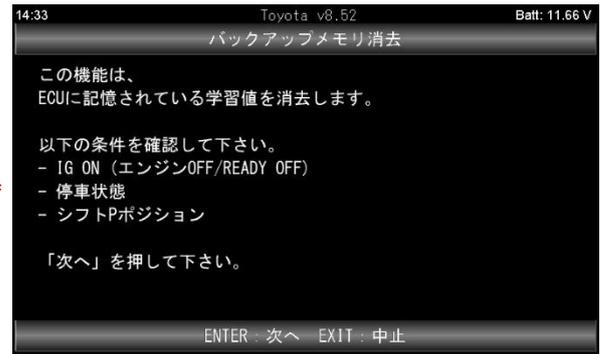
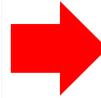
⑥「システム確認中しばらくお待ちください」が表示されたあと「ブレーキ/電動 PKB」の作業サポート選択の画面が表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 04:作業サポート「バックアップメモリ消去」の実行】

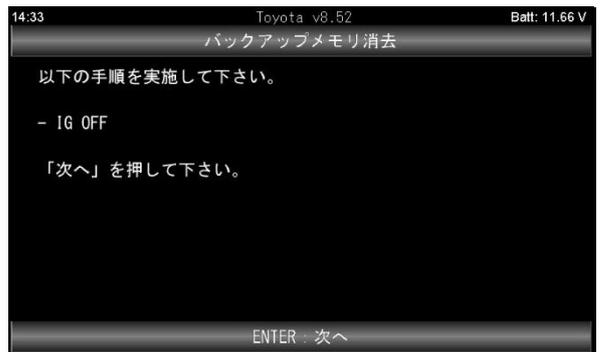
- ①「ブレーキ/電動 PKB」の作業サポート選択の画面で「バックアップメモリ消去」を選択して ENTER キーを押してください。次に表示される「バックアップメモリ消去」の画面の内容を確認して ENTER キーを押してください。



- ②「しばらくお待ちください。」が表示されたあと右の画面が表示されます。

表示に従い車両側 POWER スイッチを OFF にしたあと ENTER キーを押してください。

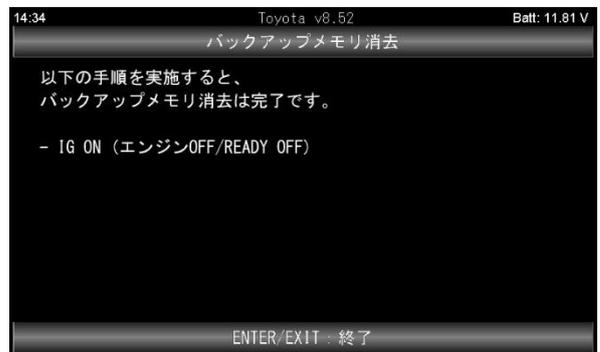
※バックアップメモリ消去を実行するとメーター内に「機能故障」などのメッセージが表示されます。メッセージの表示は次ページの手順 05 を完了して POWER スイッチを OFF するまで表示されます。



- ③「しばらくお待ちください。」が表示されたあと右の画面が表示されます。

表示に従い車両側 POWER スイッチを ON にしてください。

以上でバックアップメモリ消去は完了です。ENTER キーか EXIT キーを押してください。



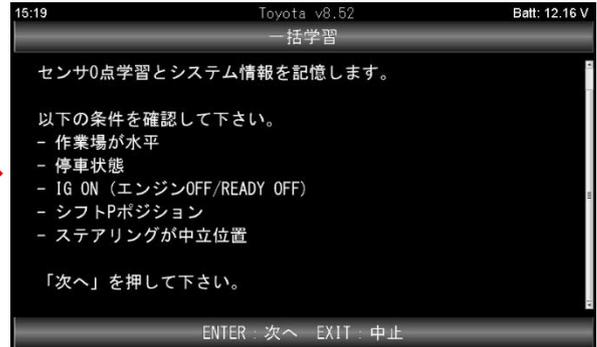
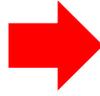
- ④「ブレーキ/電動 PKB」の作業サポート選択の画面に戻ります。



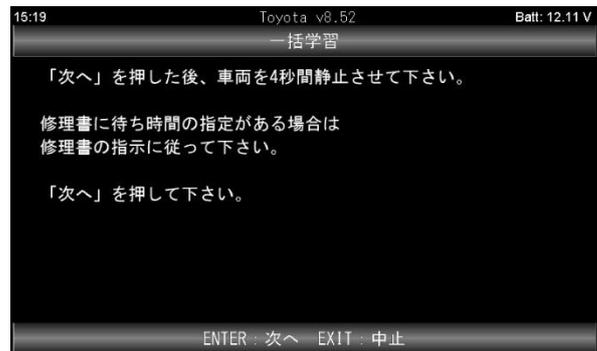
(次ページに続きます)

【手順 05:作業サポート「一括学習」の実行と学習結果の確認】

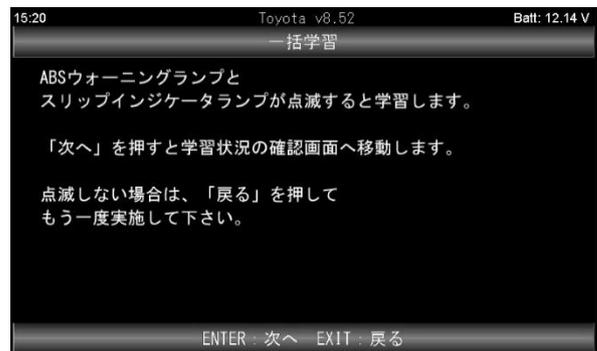
- ① **パーキングブレーキを解除してください。パーキングブレーキ解除後はブレーキペダルの操作は行わないでください。**
- ② 「ブレーキ/電動 PKB」の作業サポート選択の画面で「一括学習」を選択して ENTER キーを押してください。
次に表示される「一括学習」の画面の内容を確認して ENTER キーを押してください。



- ② 「しばらくお待ちください。」が表示されたあと右の画面が表示されます。ENTER キーを押してください。



- ③ 「しばらくお待ちください。」が表示されたあと右の画面が表示されます。
車両側のメーター内の ABS ウォーニングランプ、
ブレーキウォーニングランプ(黄色)、スリップインジケータが
0.25 秒周期の点滅を開始しますので、※
この状態で 2 分間待機したあと、ENTER キーを
押してください。



- ④ 「学習結果」が表示されます。
「ストロークセンサー0 点学習状態」が「完了」となっていれば
完了です。
車両側 POWER スイッチを OFF にしてください。



※スリップインジケータが 0.25 秒周期の点滅をせず、「学習結果」で「リア弁オフセット学習」の項目が「未完了」と表示される場合は、一度車両側 POWER スイッチを OFF にして 4 分間以上待機したあと、再度、4 ページの手順 04、5 ページの手順 05 を行ってください。

(2025.6 発行)